

長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業
「対話を通した鑑賞(対話鑑賞)」プログラム

ファシリテーター
シンビズムワーキンググループ

2016年度より県内美術館等の学芸員が所属を超えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの作家を選定、これまでに第1回～第5回までシンビズム展を開催。計18会場にて全76名の作家を紹介してきました。(現在42名)メンバーのなかで、対話を通した鑑賞のファシリテーターとして実績のある学芸員(希望校近隣)を派遣します。



阿部知事とシンビズムメンバー(2021年12月) 撮影:田中慶

シンビズム:エデュケーショナルアドバイザー

三澤 一実先生(武蔵野美術大学教授)

中学校教諭、埼玉県立近代美術館主査、文教大学准教授を経て、2008年より武蔵野美術大学教職課程教授。同年より武蔵野美術大学の「旅するムサビプロジェクト」で、全国27都道府県で対話鑑賞を行う。日本の教育現場にいち早く対話鑑賞を取り入れ、全国で普及活動を展開中。

画像協力:東御市立和小学校、R5年度プログラム実施校より千曲市立屋代中学校2年生・山ノ内町立東小学校6年生

「対話を通した鑑賞(対話鑑賞)」プログラム 教員向けワークショップ講師

宮下 聡先生(東御市立和小学校 校長)

2007(平成19)年に東御市で設定したアレナスの対話鑑賞を経験。以後、教育現場のさまざまな場面で対話鑑賞の手法を実践する。2022(令和4)年度に東御市立和小学校校長に就任後は、東御市文化芸術振興計画策定に関わるなど、幅広く活動中。

推奨動画

<p>シンビズム対話鑑賞 紹介動画</p> 	<p>朝鑑賞実践編</p> 	<p>朝鑑賞理論編</p> 	<p>長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業 対話を通した美術鑑賞 小海中学校×小海町高原美術館 ! ARTS CHANNEL ! ! CULTURE.NAGANO</p> 
---	---	---	---

推奨記事

東御市の朝鑑賞から生まれる対話の循環
<https://www.culture.nagano.jp/special/10425/>



お問い合わせ | 信州アーツカウンシル

一般財団法人 長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進局
〒380-0928 長野県長野市若里1-1-4 県立長野図書館1階 Tel:026-223-2111 Fax:026-223-2112



助成 | 令和六年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、一般財団法人 地域創造
制作 | シンビズムワーキンググループ: 工藤美幸(佐久市)、由井はる奈(佐久市立近代美術館)、名取淳一・中嶋実・鈴木一史(小海町高原美術館)、清水雄・山極佳子・大塚菜々美(上田市立美術館)、加藤泰子(心の花美術館 in 上田)、佐藤聡史(丸山晩霞記念館)、山崎麻由・佐野悠斗・小沢和実(東御市)、伊能あずさ(川越市立美術館)、鷹野雪菜、山岸吉郎・河西見佳(イルフ童画館)、前田忠史・中田麻衣子(茅野市美術館)、小松由以(信州高遠美術館)、矢ヶ崎結花、伊藤幸穂(木曾町教育委員会)、坂口佳奈(木祖村教育委員会)、三澤新弥・塩原理絵子(安曇野市教育委員会)、武井敏((公財)碓山美術館)、富永淳子(安曇野高橋節郎記念美術館)、大竹永明、田中想子(須坂版画美術館)、五味大樹(世界の民俗人形博物館)、田中新十郎(田中本家博物館)、布谷理恵(千曲市アートまちかど)、水橋絵美(中野市立博物館)、小林宏子(前中野市立博物館)、阿部澄夫((一社)一本木公園バラの会 信州中野銅版画画ミュージアム)、関千尋(山ノ内町立志賀高原ロマン美術館)、小野佳奈、松井正・梨本有見・宮下真美・早川綾音・伊藤羊子((一財)長野県文化振興事業団)
編集 | シンビズムワーキンググループ 教育普及班: 梨本有見(一般財団法人 長野県文化振興事業団)

みて かんじて 話す

子どもの発想を活かし育てる学びづくり

長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業
「対話を通した鑑賞」
(対話鑑賞)
プログラム

アートの手法を用いて、「みて」「かんじて」「話す」、そして他人の意見を「聞いて」、「考える」ことで新たな見方を発見したり、相手の意見を受け入れることにより、コミュニケーション能力や表現力、創造力を学び、育むことを目指します。

長野県では、長野県文化芸術振興計画に基づき、県内の学校において、児童生徒が対話を通した鑑賞を通じてコミュニケーション能力や表現力、創造力を学び育むことを目的として、長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業を実施しています。

対話を通した鑑賞をはじめ、さまざまなアートの手法を取り入れたワークショップなどを学校・教育関係者に紹介するとともに、ファシリテーターやコーディネーターなど文化芸術関係者のネットワークを構築。子どもの発想を活かし育てる活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に活かせるよう、支援を進めています。

聞いて 考える

